

1 都市と商業の発達

- (1) 三都(江戸・大坂・京都)が発展し、特に大坂は(**天下の台所**)と呼ばれた。
- (2) 有力な寺院や神社の周辺に形成された町を(**門前町**)と言う。
- (3) 各地の大名の年貢米や特産物は、大坂の(**蔵屋敷**)に運ばれて売買された。
- (4) 有力な商工業者は、幕府の許可を得て(**株仲間**)を作り、営業を独占した。
- (5) 貨幣の流通に伴い、手数料を取って貨幣を交換する(**両替商**)が現れた。

2 元禄文化

- (6) 5代将軍・徳川綱吉の頃に栄えた、町人中心の文化を(**元禄文化**)と言う。
- (7) 井原西鶴など、民衆の生活や心情を描いた文学を(**浮世草子**)と言う。
- (8) 松尾芭蕉は俳句の芸術性を高め、紀行文集の(**奥の細道**)を残した。
- (9) 近松門左衛門は、(**人形浄瑠璃**)の脚本家として名高い。
- (10) (**尾形光琳**)は、俵谷宗達が生み出した装飾画を大成した。

<ワンポイント解説>

- ... 江戸の人口は100万人を超え、世界最大級の大都市であった。
- ... 主な門前町には、奈良や長野がある。
- ... 大坂には全国の物資が集まっていたと言われる。
- ... 室町時代の座は寺社に保護を求めたが、株仲間は幕府に保護を求めた。
- ... 江戸の三井高利など、両替商から大商人に成長する者も現れた。
- ... 17世紀末から18世紀初頭に栄えた。
- ... 井原西鶴の代表作は「世間胸算用」「好色一代男」など。
- ... 俳諧と呼ばれた。
- ... 近松門左衛門の代表作は「曾根崎心中」「国性爺合戦」など。
- ... 尾形光琳の代表作は「風神雷神図」「燕子花図」など。



【アプリ版のご紹介】中高生の日本史

壬申の乱、壇ノ浦の戦い、六波羅探題、建武の新政、元禄文化、桜田門外の変、
日本史を学ぶ上で絶対に抑えておきたい重要事項を、時代の流れに沿って収録。
はじめから順に解いていくことで、日本史の大きな流れを記憶することができます。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の漢文

次の白文の、下線部の読み方は？ 国破山河在
(A) あらんやさんが (B) さんがあり (C) さんがあらず (D) あるはさんが